



# Changemaker journal

2026

4

VOL.9

本校は、「時代の変化・地域の課題に対応した新たなタイプの学校」として、2023年4月にリニューアルしました。この通信では、犬総の特色ある科目である、1年生「産業社会と人間」2年生「地域探究Ⅰ」3年生「地域探究Ⅱ」を中心に、校内外でのさまざまな学びの様子をお届けします。

## 新入生

### 入学おめでとうございます



一年生の先生たちからご挨拶



新入生代表 入学式挨拶



部活動紹介

## クラス開き～なりたい私たちを認め合おう～

新年度のスタートにあたり、全学年でクラス開きの時間を行いました。今回は「カラーチェックイン」というワークを通して、今の自分の気分を色で表し、ことばにして共有することから始めました。その後、「これからなりたい私」をそれぞれが考え、仲間と共有し合う中で、互いの思いを認め合う大切さを学びました。自分を少しオープンにし、安心して学び合えるクラスづくりにつながる時間となりました。



## 産業社会と人間～1年～

1年生の「産業社会と人間」では、自分を知り、社会や仕事との関わりを考える学習を行います。体験や対話を通して、生き方や進路を主体的に考える力を育てます。

4月は、自己探求ワークショップを中心に学習を行いました。ライフラインチャートや偏愛マップの作成など様々なワークを通して自分のこれまでを振り返り、仲間と共有することで自己理解を深めました。

また、今後は起業家や共生社会の研究者、DXデザイン・データサイエンスなど、各分野で活躍する専門家による講話を通して、探究を仕事につなげる多様な生き方に触れる機会を設けています。24日には起業家の松浦さんをお招きしその第一回を実施しました。探究は、まず自分を知らずから始まります。4月に見つけた「自分らしさ」を大切にしながら、今後の分野別講話での学びにつなげていけるといいですね。



【私の成分表】  
私はどんな人なのか？  
要素で自分の見つけ直し



【ライフラインチャート】  
人生のどんな経験が今の私を作っているのか振り返る



【わたしのストーリー】  
私の「大切なもの」で振り返る



【分野別講話第一回】  
株式会社テラ・ラボ 松浦 孝英氏

2年生が全員参加する「地域探究Ⅰ」では、導入として8つのプロジェクトに分かれ、チームビルディングを行いました。メンバー同士の関係づくりを通して今後、協働して探究を進めていくための土台を整えました。

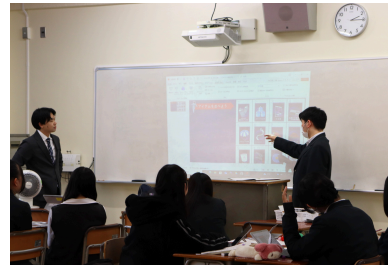
## 地域探究Ⅰ～2年～



オリエンテーション



NASAゲームでチームビルド



NASAゲームの班別発表



ペーパータワーでチームビルド

オリエンテーションを経て、8つの地域プロジェクト、

【起業／介護／コミナス／シェアエコ／共生／AI／ポスター／CM】

に分かれて活動を開始しました。話し合いやワークを通して、「互いの考えを尊重すること」、「役割を意識して動くこと」、「意見の違いを前向きに受け止めること」など、チームで協働するうえで大切な力をはくむ時間を重ねました。これからの探究はチームで進めていきます。今後の活動も、互いに協力しながら進めていけるとよいですね♪

## 地域探究Ⅱ～3年～

3年生の「地域探究Ⅱ」では、1・2年次の探究授業を通して学んできたこと踏まえ、「さらに深めたい」という思いをもった生徒たちが集結！自分だけの探究へと向かう準備がまりました。



オリエンテーション&自己紹介



ライフラインチャート深掘り



好きなものリスト100作成

自己紹介や好きなものビンゴを通して、新しいクラスのメンバーに慣れるところから活動を始めました。また、これまでの自分史を振り返るライフラインチャートを作成し、印象に残っている出来事や、そのときの感情について深く考えました。さらに、価値観リストや「好きなものリスト100」を作成し、仲間や先生との対話を通して、自分自身の考えや大切にしていることを言葉にしていきました。自分と友達とは、感じ方や大切にしていることが異なることにも気づくことができたでしょう。これから、この「自分の好き」から芽生えた感覚が、自分だけの探究プロジェクトを実行していくための“種”になってくれることを期待しています。

### 前期生徒会発足

前期生徒会役員のメンバーが決定し、認証式が行われました。式では、一人ひとりに認証書が手渡され、新たな役員としての自覚と責任を胸に、前期の活動がスタートしました！



今年度、犬山総合高校の学校長に着任しました南里です。犬山総合高校は探究活動を中心として学びを進める高校です。新年度がいよいよ始まります。気持ちも新たに探究活動に取り組みましょう。

さて、アメリカの著名な教育学者ジョン・デューイは、「**学校は、社会と切りはなされた場所ではなく、社会そのものだ**」と語っています。犬山総合高校は、この考えを体現している学校とも言えます。学校の中だけで学ぶのではなく、地域や社会とつながる「開かれた学校」です。探究活動では、身のまわりの「なぜ？」や「どうしたらよくなるか？」を出発点に、地域・企業・大学等の方と話したり、実際に行動したりしながら学びを深めていきます。こうした学びを通して、自分で考え、行動し、社会をよりよく変えていこうとする“**チェンジメーカー**”を育てたいと考えています。多くの人との出会いの中で、自分の未来だけでなく、社会の未来にも目を向けられる生徒に成長して欲しいと願っています。



南里校長先生